

「第37回品川平和のための戦争展」2020年8月13日（木）～8月16日（日）
品川区民ギャラリー（大井町イトーヨーカドー8階）を中止しました。

36年間続けてきた戦争展、しかも今年は戦後75年の年。コロナ感染への対策に乗じて非常事態条項が必要と脅かし、一方で軍事費は削らず、民意に反し、コスト的にも無駄と言われる辺野古の埋め立てを止めない安倍政権。いまこそ事実をもとに考え合う場をつくりたいとギリギリまで模索しました。が、東京都の感染者が増える中、会場は入口にしか空気の入出力がなく、極めて換気の悪いところであるため、現状では無理と判断しました。

「小島義一さんが描いた、荏原町付近の城南空襲の絵」のデジタル化から

戦争展をやらない代わりに何ができるのか、今まで私たちが収集してきた地域の資料や証言をまとめて皆さんに見てもらえる形でまとめられないかと考えるようになりました。「私たちは品川の地域に根差し、地域から戦争を見つめ語り継ぎたい」と始めました。36年の間に戦争展実行委員会が集めた資料は膨大です。特に「小島義一さんが描いた、荏原町付近の城南空襲の絵」は、今までも「デジタル化して教材にできないか」などの声をいただいていた。証言できる人は年々少なくなっています。次世代へつなげていくために、いただいた証言や絵、作文等の資料をデジタル化し、公開したいと準備を進めています。



2020.9. しながわ平和のための戦争展実行委員会 文責 西條明子